

令和元年度 第2回沼津市立図書館協議会 議事録

日時 令和2年3月25日(水) 午後2時00分 から 午後3時00分
場所 沼津市立図書館4階 第3講座室
出席者 委員 7名
 匂坂会長、高地副会長、猪浦委員、露木委員、小島委員、
 神田委員、山本委員、(欠席：佐藤委員、清水委員)
事務局 6名
 杉山館長、勝又事務長、望月事務長補佐、仲泊管理・事業係長、
 細倉図書係長、鈴木主事
傍聴者 報道関係：沼津朝日新聞 市民：2名

1 協議会設置法令等について

配付資料に基づき、図書館協議会の設置根拠、役割等について説明

2 会長挨拶

先ほど事務局から、新型コロナウイルス対策のため、換気を随時行いながら会議を行うとあったが、微細なウイルスというのは、換気を行うことで外へ出ていくと報道でもあるように、気を使って換気等をして頂きたい。また、図書館運営につきましても、同様に気を使うこともあると思うが、頑張ってもらいたい。

3 案件（進行：匂坂会長）

(1) 令和2年度資料整備予算について

- ① 図書資料
- ② 視聴覚資料

事務局から配付資料に基づき説明

委員： 郷土資料が前年度300万円となっているが、清水家本陣資料を購入するための予算ということでよいか。

事務局： 間違いない。

(2) 令和2年度自主事業計画について

事務局から配付資料に基づき説明

委員： 街中だがしや学校やアルコミチはどのような形で参加するのか。

事務局： 市内のイベントであるが、自動車文庫にて本の貸出しなど行い、図書館活動のPRを行う。

事務局： こどもが多いイベントであるため、自動車文庫で本を借りる体験をしてもらうことや、読み聞かせに参加してもらうなど、図書館を身近に感じてもらい、図書館利用を促進させるのが目的である。

委員： ビブリオバトル小中学生、高校生大会とはどういう大会か。

事務局： 高校生大会については、来年度、図書館主催で初開催する事業であり、市内の高等学校に声をかけて、高校生がバトラーになり、書評合戦を行う。

事務局： 自分が読んでもらいたい本をPRして、それを観戦している人がどの本が一番読みたくなったかを決めるのがビブリオバトルである。

事務局： ビブリオはラテン語で書物を意味し、バトルは戦いを意味する言葉である。

事務局： 小中学生は本年度も開催したが、来年度は高校生大会も開催する。また、コロナウイルスの関係で延期としたが、大人を対象としたビブリオバトルも開催し、全世代にビブリオをやリ、ビブリオの街にすることを検討している。

(3) 図書館スペースの有効活用とサービス拡大について

事務局から配付資料に基づき説明

委員： 障害者団体によるパン、物品等の販売とあるが、障害者団体は決定しているのか。

事務局： まだ決まっていない。

委員： 沼津市内か。

事務局： まずは沼津市内から。

委員： 沼津市内から応募がなければ沼津市外の障害者団体の可能性もあるのか。

事務局： 沼津市役所内に「パイン」という店舗があるが、そこを運営している障害者団体のような団体を想定している。

委員： 沼津の図書館であるため、沼津市内の団体でお願いしたい。販売する場所についても、良い場所を提供してほしい。

事務局： 1階の貸出し用車いす等を置いている場所など、貸出できる範囲を慎重に検討していく。

委員： 4階の可能性もあるのか。

事務局： それも含めて検討していく。

委員： 館内は、4階ランチルーム以外飲食禁止としているが、購入したものは4階ランチルームで飲食することになるのか。

事務局： その予定である。ランチルームも時間を拡大するなどの取り組みをしている。

委員： 沼津市立図書館の魅力を作っていくことは難しいことか。

事務局： 健康支援という話が以前あったが、それを頭に置きながら、今年度開催する講演会「図書館とスポーツ」と題して、岩崎恭子さんに講演していただく。それを契機に試行錯誤をしながら検討していく。快適な読書環境だけにこだわらずに、多面的に考えていく。

委員： 私は読書家ではないが、図書館には行かずにはいられない。これから高齢化社会が進んでいくことや、子どもたちへの図書館利用の支援を行うにあたって、沼津市立図書館の魅力というものがあれば良い。

委員： 今後、事業を行いながら検討してほしい。

4 報告事項

(1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る対応について

図書館サービスの休止や制限の措置をとっているが、例年に比べ、来館者数は3割ほど減少している。貸出者数・貸出点数については変動がなかったことを説明した。

(2) 図書資料の貸出し・返却に係るサービス拡充について

本館、戸田図書館で借りた本を各地区センター図書室で返却することができるようにした「TSUNAGARU Project」について説明した。

(3) 郷土資料「沼津宿本陣清水家資料」の購入と企画展「東海道沼津宿と清水本陣」の開催について

近世沼津宿の本陣役を務めていた清水家が所蔵していた古文書等の資料7点を購入したことを報告。本日(3/25)より企画展「東海道沼津宿と清水本陣」の開催をしていることを説明した。

(4) 沼津市立図書館公式ツイッターの開設について

沼津市立図書館公式ツイッターを開設したことを報告。既に運用しているフェイスブックより多くのフォロワーを有していることを説明した。

(5) 中心市街地活性化に係る社会実験「arcomichi(アルコミチ)2019」への参加について

他課主催のイベント参加し、図書館として、自動車文庫での本の貸出や読み聞かせを行ったことを報告。今後は、自動車文庫を有効活用しながら、外部でのイベント参加を検討していることを説明した。

(6) 「ぬいぐるみのおとまり会」の実施について

今年度初開催した、ぬいぐるみのおとまり会について説明した。今後も開催を検討していることを説明した。

(7) 図書館資料用除菌BOXの設置について

除菌BOXの使用方法などを説明した。昨今の状況から、使用率も高いため、2台目を購入したことを報告した。

(8) 館内の緑化推進について

図書館内に観葉植物を複数個所に設置したことを説明した。今後も利用者が快適に過ごせるように、緑化を推進していくことを説明した。

委員： 3階のバルコニーにあるプランターのようなものには、今後、植物を植えるのか。

事務局： 状況を確認し、検討していく。

委員： 季節の花を植えるようにしてほしい。

委員： 風などを考慮して、環境に適した植物が望ましい。

事務局： 参考にしていく。

委員： ぬいぐるみのおとまり会は今年度から開催しているのか。

事務局： 今年度、初開催した。

委員： 参加者のアンケートがあるか。参加人数10組と少ないため、アンケートを取ったほうがよい。

事務局： アンケートを取っている。参加者を10組としたのは、参加者に対し、アルバムを作成するため。おはなし会の状況やぬいぐるみの図書館での様子など写真を撮り、プレゼントした。図書館職員の発案で始めたイベントであり、来年度に活かしていく。

委員： アルコミチ2019への参加はとても感動した。図書館として外部のイベントに参加したことや自動車文庫の利活用など今後も行っていきたい。

委員： 駐車場の減免についてだが、未就学児に対して1時間の減免があることをもっと周知したほうが良い。ホームページや駐車場等に情報がないため、未就学児を連れた親子が知らないケースが多い。早急に情報を公開してほしい。

事務局： ホームページや現場を確認し対応する。

5 その他

図書館職員の人事異動について説明した。

6 閉会